

『魚介類鎮静化システム』のご紹介

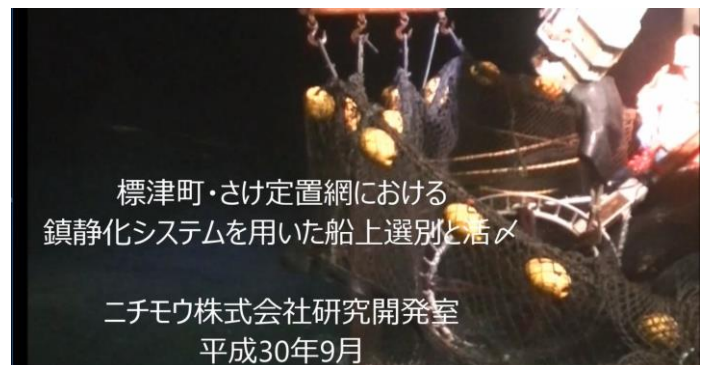
「浜から食卓まで」をコンセプトに事業を展開しているニチモウは、『電気刺激を用いた魚介類鎮静化システム』を販売しております。『魚介類鎮静化システム』は、養殖魚または漁獲した魚などを水から取り上げる際に、電気刺激を与えてそれらが暴れることを防ぐためのシステムです。これにより魚の取り扱いが容易になり、活締めなどの作業負荷が軽減できることや（電気刺激だけでは絶命せず、気絶しているような状態になるだけです）、魚がもつエネルギー物質（アデノシン三リン酸）の消耗や打ち身の発生による品質の低下を抑制することが期待できます。

電気刺激を魚に与えると筋肉が過度に収縮して、脊椎などが骨折して内出血を生じ、魚の商品価値を下げる場合があります。しかしニチモウの『魚介類鎮静化システム』は、適切な電気刺激の条件を研究開発することにより、骨折などの悪影響が発生しにくい電気刺激を与えることができるようになっています。

『魚介類鎮静化システム』は、タモ網を用いて同時に 50～100 尾程度を鎮静化できる「タモ網式」と（特許第 6525197 号「鎮静水揚げ方法」）、フィッシュポンプなどと組み合わせて利用できる「連続式」の 2 種類の活用方法をご用意していますので、それぞれの作業状況に合わせて『魚介類鎮静化システム』を導入していただけます。



フィッシュポンプおよび連続式魚介類鎮静化システムを用いた養殖ギンザケの水揚げ



標津町・さけ定置網における鎮静化システムを用いた船上選別と活め

※活用している様子は上記貼付写真をクリックするとご覧いただけます。

2019年8月に行われた第21回ジャパン・インターナショナル・シーフードショーで、養殖ギンザケを用いた魚介類鎮静化システムデモンストレーションを行い、多くの来場者にその効果をご覧いただきました。



2019年11月現在で適用を確認している魚種は、養殖ブリ・カンパチ、養殖ギンザケ・トラウト、養殖マダイ、養殖シマアジ、シロザケ（定置網）などです（試験導入は継続中）。

本件に関するお問い合わせは以下までお願いします。

【研究内容に関するお問い合わせ】

ニチモウ株式会社 研究開発室

TEL: 083-282-2955 Mail: web@nichimo.co.jp

【製品に関するお問い合わせ】

ニチモウ株式会社 海洋営業部

TEL: 03-3458-4560 Mail: web@nichimo.co.jp

注1. 魚介類鎮静化システムの初期開発は、国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校 前田俊道教授と実施しました。

注2. ブリ向けシステムの開発の一部は、平成26～27年度農研機構生研センター・攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業、平成28～30年度農研機構生研センター・革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）において実施されたものです。

注3. ギンザケ向けシステムの開発の一部は、平成25～29年度農林水産省事業 食料生産地域再生のための先端技術展開事業（宮城）「サケ科魚類養殖業の安定化、省コスト・効率化のための実証研究」において実施されたものです。

以上